



スクールバンドフェスティバル 2/11

『第7回スクールバンドフェスティバル』が町公民館で開かれ、町内の中学、高校の吹奏楽部員約80人が、日ごろの練習の成果を披露しました。三石中、静内三中、静内中、静内高の順に、ポップスや演歌など、さまざまなジャンルの曲を3、4曲ずつ披露。最後は生徒全員で、ジャズの定番「イン・ザ・ムード」と東京ディズニーランドのパレード曲「ディズニー・ファンタジーレジョン」を演奏し、会場から大きな拍手が送られました。



交通安全指導員表彰伝達 2/3

日高地区交通安全推進協議会（会長・池田拓浦河町長）は、本年度の日高地区交通安全功労者として町内の4名を表彰し、酒井町長から表彰状が伝達されました。受賞したのは、写真左から石田國昭さん（70）、吉田守さん（72）、阿部行雄さん（71）、榊雅彦さん（56）。4名の方々は長年にわたり、町交通安全指導員として、子どもたちの登下校時の街頭指導など、地域の交通安全推進に貢献してきました。



迷惑電話チェッカー 1/20

静内警察署は、特殊詐欺被害などを防ぐため、迷惑電話を着信拒否する専用機器「迷惑電話チェッカー」を酒井町長の自宅に設置しました。同署は、地域住民へのPRを目的に酒井町長に設置を依頼。機器には警察が把握する全国の詐欺グループや悪徳業者の電話番号約2万5千件が登録され、当該番号からかかった場合は赤ランプが点滅し「迷惑電話の恐れがあります」と音声がかかります。来年9月まで無料で貸し出しています。

ニュースフラッシュ

まちのできごと、話題をお届けします。



自殺予防対策講演会 2/17

町主催の『自殺予防対策講演会』が町公民館で開かれ、NPO法人自殺対策支援センター・ライフリンクの清水康之代表が、自殺対策と地域の取り組みについて講演し、約250人が参加しました。清水さんは「自殺対策は『死ぬしかない』という状況に陥っている人が、生きる道を選べるように支援すること。自殺に対応できる地域の取り組みは、あらゆる社会問題に対しても有能に機能するはず。自殺対策＝地域づくり」と強調しました。



ウィンターデ・ライト 2/7

真冬の夜を楽しむイベント『ウィンターデ・ライト』（町商工会青年部主催）が町公民館横の広場などで開かれました。広場には、同青年部や陸上自衛隊静内駐屯地が作ったオブジェが並び、約2300個のアイスキャンドルが、会場を幻想的な光で包み込みました。人気を集めたのは「妖怪ウォッチ」のジバニャン。公民館2階から見下ろした来場者から歓声が上がりました。また、町内飲食店8店による「ラーメン祭り」も同時開催されました。



命の大切さを学ぶ教室 1/30

平成15年に交通事故で当時中学3年生の長女を亡くした空知管内南幌町の白倉裕美子さん（45）が、静内三中で講演し、交通事故の悲惨さや命の大切さを全校生徒264人に訴えました。白倉さんは残された遺族の苦しみを語った上で「悪口を言ったり、いじめをして加害者になれば被害者から恨まれてしまう。優しさと想像力を身につけて社会に出てほしい」と呼びかけました。



子どもカルタ大会 1/18

町三石青少年育成協議会による『第33回子どもカルタ大会』が三石小学校多目的ホールで開かれ、三石地区の小中学生14チーム45人が参加し、熱戦を繰り広げました。大会は、百人一首の下の句だけを読む「下の句かるた」で行われ、小学生低学年から中学生まで各部門に分かれ、1チーム3人で競いました。向かい合った子どもたちは、読み手の声に集中。素早い動きで木札を取り合いました。



火災予防PR 2/15

日高中部消防組合消防署三石支署は、町民への火の用心の呼びかけと、子どもたちに消防への関心を持ってもらおうと庁舎前に人気アニメキャラクターの雪像を作成しました。



ソフトバレーフェスタ 2/15

『第9回新ひだか町ソフトバレーフェスタ』が三石スポーツセンターで開かれ、小学生の部10チーム、混成の部31チームが出場し、熱戦が繰り広げられました。



ふるさとの空 2/14

わんぱくチャレンジスクール『ふるさとの空』が静内農業高校で開かれ、同校生徒の指導の下、小学3～6年生の児童20人がソーセージの加工作業を体験しました。



全道実績発表大会 2/5・6

農業を学ぶ高校生が1年間の研究成果を発表する『第66回全道実績発表大会』が町公民館で開かれ、道内予選を通過した17校53チーム、約200人の生徒が参加しました。